

(様式①)

事業計画書目次

〔文化観光局〕

4款1項2目

(単位：千円)

計画書頁	事業名	令和5年度		令和4年度		増△減(5-4)		新規・拡充
		事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	
1	創造界隈形成事業	286,201	251,489	299,167	264,455	△ 12,966	△ 12,966	
2	アーツコミッション事業	34,360	33,360	38,600	37,600	△ 4,240	△ 4,240	
3	創造的イルミネーション事業	400,000	350,000	388,000	300,000	12,000	50,000	
4	映像文化都市づくり推進事業	17,529	2,500	18,519	3,191	△ 990	△ 691	
5	創造都市推進事業	62,038	12,038	35,538	13,038	26,500	△ 1,000	
6	芸術文化教育プログラム推進事業	34,940	34,940	34,940	34,940	0	0	
7	地域文化サポート事業	31,000	31,000	33,000	33,000	△ 2,000	△ 2,000	
8	クラシック・ヨコハマ推進事業	9,000	9,000	9,000	9,000	0	0	
9	ミュージック・マスタース・コース・ジャパン推進事業	5,000	5,000	6,000	6,000	△ 1,000	△ 1,000	
10	芸術文化支援事業	33,900	33,900	57,900	57,900	△ 24,000	△ 24,000	
11	文化施設運営事業	3,492,516	3,477,665	3,664,752	3,652,909	△ 172,236	△ 175,244	
12	横浜美術館大規模改修事業	6,746,683	6,746,683	6,295,301	6,295,301	451,382	451,382	
13	横浜能楽堂大規模改修事業	88,140	88,101	81,321	77,623	6,819	10,478	
14	文化施設整備事業	578,997	578,997	1,502,923	1,330,923	△ 923,926	△ 751,926	
15	横浜文化賞事業	4,820	4,820	4,179	4,179	641	641	
16	美術資料収集事業	12,030	0	5,030	0	7,000	0	
17	地域創造助成事業費	1,000	0	1,000	0	0	0	
18	指定管理者制度運営費	2,734	2,734	2,473	2,473	261	261	
19	文化振興企画調査費	2,379	2,379	2,379	2,379	0	0	
	フランス映画祭支援事業	0	0	25,000	25,000	△ 25,000	△ 25,000	
	横浜みなとみらいホール大規模改修事業	0	0	3,266,391	3,214,042	△ 3,266,391	△ 3,214,042	
	計	11,843,267	11,664,606	15,771,413	15,363,953	△ 3,928,146	△ 3,699,347	

令和5年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	創造都市推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他		2	目	枝番号	前年度事業名称	
歳出予算科目	一般会計	4	款	1	項		
事業名称	創造界限形成事業		政策番号	30	政策指標	1	施策番号 3 施策指標 1

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	286,201			34,712		251,489
補助事業 単独事業						0
令和4年度	299,167			34,712		264,455
増△減	△ 12,966	0	0	0	0	△ 12,966

歳出	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	予算	事業費	市債+一般財源	予算	事業費	市債+一般財源	予算	事業費	市債+一般財源	予算	事業費	市債+一般財源	予算	事業費	市債+一般財源	予算	事業費	市債+一般財源
事業費	322,110	322,110		337,482	337,482		720,252	720,252		286,201	286,201		286,201	286,201		286,201	286,201	
市債+一般財源	297,689	297,689		312,837	312,837		695,607	695,607		251,489	251,489		251,489	251,489		251,489	251,489	
決算	315,171	315,171		352,292	352,292		661,615	661,615										
市債+一般財源	290,750	290,750		327,639	327,639		636,970	636,970										

事業概要	関内・関外地区をはじめとする都心臨海部の歴史的建造物や公共空間（道路・公園・水辺）等を活用し、創造性を生かしたまちの賑わいづくりを進めます。創造界限拠点では、これらの活動を先駆的に進めるとともに、賑わいづくり等の地域活性化のノウハウを郊外部においても活用します。							
事業開始年度	平成18年度							
根拠法令・方針決裁等	方針決裁：平成18年6月 旧老松会館、平成19年3月 初黄・日ノ出町地区、平成20年6月 象の鼻テラス、平成20年12月 旧第一銀行横浜支店、平成25年3月 旧関東財務局、平成29年12月 文化芸術創造発信拠点、横浜市附属機関設置条例							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>本事業は、横浜の最大の強みである「港を囲む独自の歴史や文化」を活用し、芸術や文化のもつ「創造性」を生かして、都市の新しい価値や魅力を生み出す都市づくりを「文化芸術創造都市横浜」の施策に基づき推進しています。その一環として、都心臨海部の歴史的建造物や公共空間等の有効活用、違法特殊飲食店が建ち並んでいた初黄・日ノ出町地区における環境浄化に向けたまちづくりなどを通じ、創造界限を形成します。あわせて賑わいづくり等のノウハウを活用し、郊外部の地域活性化などの課題の解決につなげる取組を実験的に行います。なお、創造界限拠点の運営については、毎年横浜市創造界限形成推進委員会による評価や助言を受け、次年度以降の事業に反映しています。</p> <p>《創造界限拠点》</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧第一銀行横浜支店 旧老松会館 初黄・日ノ出町地区（地域再生まちづくり） 象の鼻テラス THE BAYS（旧関東財務局） BankART1929（文化芸術創造発信拠点） 							
根拠・データ等	<p>令和3年度利用実績数</p> <ul style="list-style-type: none"> 急な坂スタジオ（旧老松会館）利用団体数：152団体 初黄・日ノ出町地区 黄金町バザール来場者数：9,053人 象の鼻テラス来館者数：400,299人 THE BAYSショップ来店者数：67,871人 BankART1929来場者数：34,253人 <p>※旧第一銀行横浜支店は施設改修に伴い休館</p>							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
創造界限拠点の運営	単位	目標	6	5	6	6	6	6
		実績	6.0	5.0				
事業スケジュール	<p>平成16年1月 『文化芸術都市-クリエイティブシティ-ヨコハマの形成に向けた提言』（文化芸術・観光振興による都心部活性化委員会）</p> <p>平成16年3月～18年3月 歴史的建造物等の文化芸術活用実験事業（16年3月～旧第一銀行横浜支店等の活用）</p> <p>平成18年 「都心部歴史的建造物等活用事業補助金交付要綱」制定（現「創造界限形成事業補助金交付要綱」）</p> <p>旧関東財務局等、急な坂スタジオ（旧老松会館）運営開始</p> <p>平成20年 初黄・日ノ出町地区高架下スタジオ運営開始</p> <p>平成21年 象の鼻テラス、ヨコハマ創造都市センター（旧第一銀行横浜支店）の運営開始</p> <p>平成22年 「地域再生街づくり事業（初黄・日ノ出町地区）補助金交付要綱」制定</p> <p>平成29年 THE BAYS（旧関東財務局）運営開始</p> <p>平成31年 BankART1929（文化芸術創造発信拠点）運営開始</p> <p>令和3年 旧第一銀行横浜支店特定天井脱落対策工事</p> <p>令和3年 旧老松会館次期運営団体公募</p> <p>令和5年 旧第一銀行横浜支店次期運営団体公募</p>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	創造界限拠点運営	257,867	270,336	▲ 12,469	
②	旧第一銀行 計画修繕	28,334	28,831	▲ 497		
③					0	
④					0	
細事業合計			286,201	299,167	▲ 12,966	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	倉持 知子	赤崎 由香	江口 浩平

令和5年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	創造都市推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	3
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	3
歳出予算科目	一般会計	4	款	1	項	2	目
事業名称	アーツコミッション事業		政策番号	30	政策指標	1	3
	前年度事業名称	アーツコミッション事業		枝番号		前年度事業名称	アーツコミッション事業
	政策番号	30	政策指標	1	3	3	1

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	34,360			1,000		33,360
補助事業						0
単独事業						0
令和4年度	38,600			1,000		37,600
増△減	△ 4,240	0	0	0	0	△ 4,240

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予 事業費	45,060	55,060	48,371	34,360	34,360	34,360
算 市債+一般財源	45,060	55,060	47,371	33,360	33,360	33,360
決 事業費	44,890	52,972	45,238			
算 市債+一般財源	44,890	52,972	44,238			

事業概要	文化芸術と企業や学校、地域、市民等をつなぐプラットフォームの形成を通じ、文化芸術の持つ創造性をいかしたまちづくりによる賑わいづくりと国内外における文化芸術創造都市としてのプレゼンスの向上を進めます。また、これまでのノウハウを活用し、プラットフォームの活動を郊外部で展開していきます。							
事業開始年度	平成19年度							
根拠法令・方針決裁等	アーツコミッション・ヨコハマ補助金交付要綱、芸術不動産事業推進に関する連携協定書							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	文化芸術創造都市として、賑わいづくりによる観光振興や市民が文化芸術に触れる機会を増やしていくためには、文化芸術と多様な主体・分野をつなぐ基盤となるプラットフォームが必要となります。 アーツコミッション事業では、全国に先駆けて設立した地域版アーツカウンシルであるアーツコミッション・ヨコハマによる中間支援を通じ、専門人材による文化芸術活動の支援だけでなく、多様な主体や社会活動の分野をつなぐプラットフォームの形成を進めるとともに、創造的な人材や企業等の交流によるイノベーション創出や都心臨海部の回遊性向上などを目的とした実験的な事業により、賑わいづくりや市民が文化芸術に触れる機会を増やしていきます。							
根拠・データ等	令和3年度アーツコミッション・ヨコハマ実績 ・相談件数：117件（アーティスト・クリエイター等：78件、行政・企業：30件、その他：9件） ・イベント等総来場者：約12,000人 ・Webサイトアクセス数：661,046 ・クリエイターデータベースアクセス数：217,762							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
ワンストップ 相談窓口受付 数	単位	120	120	120	120	120	120	120
	件	実績	135	117				
	単位							
	実績							
事業スケジュール	・平成19年度：アーツコミッション・ヨコハマ開設 ・令和3年度：ヨコハマ芸術不動産推進機構設立							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	アーツコミッション事業	34,360	38,600	▲ 4,240
②					
③				0	
④				0	
⑤				0	
	細事業合計	34,360	38,600	▲ 4,240	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	新谷 雄一	係長	増田 修一	係	富下 春菜
--------------------	----	-------	----	-------	---	-------

令和5年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	創造都市推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	4
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	4
歳出予算科目	一般会計	4	款	1	項	2	目
事業名称	創造的イルミネーション事業		政策番号	30	政策指標	1	1

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	400,000	50,000				350,000
補助事業 単独事業						0
令和4年度	388,000	85,000		3,000		300,000
増△減	12,000	△ 35,000	0	△ 3,000	0	50,000

歳出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予	事業費	300,000	335,000	300,000	400,000	400,000	400,000
算	市債+一般財源	300,000	235,000	200,000	350,000	350,000	350,000
決	事業費	300,591	350,569	279,193			
算	市債+一般財源	300,591	283,568	229,193			

事業概要	<p>ナイトタイムエコノミー活性化の契機とするため、世界から選ばれる夜間観光コンテンツの創出を目指し、夜を美しく彩る横浜ならではのイルミネーションや光と音楽の演出を行うイベント「ヨルノヨ」を実施します。</p>							
事業開始年度	令和元年度							
根拠法令・方針決裁等								
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>令和元年度より、昼も夜も滞在を楽しめる新たな魅力づくりの一環として、横浜らしさを感じる港やウォーターフロント等の都市景観を生かし、先端技術を活用するなど、他では体験できない横浜ならではの創造的な演出を行うイベントを実施しています。年度を追うごとに、横浜のランドマークとなる施設や、地域のイルミネーション等と連携して、演出参加施設を増やし、横浜オリジナルの光のイベントとして定着させ、官民一体となって、夜も楽しめる文化観光都市を目指します。</p> <p>また、地域のイルミネーション等との連携を進めるとともに、遠景から見ても美しい水際線を創出し、夜も安全に楽しく歩ける街づくりに取り組むことにより、街の回遊性を高め、ナイトタイムエコノミーの活性化に寄与します。</p>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> イベント来場者数 元年度55万人、2年度85万人、3年度131万人 イベント経済波及効果 元年度約45億円、2年度約53億円、3年度84億円 広告価値換算値 元年度約3億円、2年度約5億円、3年度約5.6億円 光の演出参加施設数 元年度11施設、2年度20施設、3年度27施設 広報連携を行っている地域のイルミネーションイベント数 元年度25イベント、2年度21イベント、3年度25イベント 							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
イベント 来場者数	単位	目標	450,000	870,000	1,350,000	1,400,000	1,400,000	1,400,000
	人	実績	850,000	1,310,000				
イベント経済 波及効果	単位	目標	3,500,000	5,500,000	8,500,000	9,000,000	9,000,000	9,000,000
	千円	実績	5,300,000	8,400,000				
光の演出 参加施設	単位	目標	15	25	33	37	42	45
	施設	実績	20	27				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度：創造的イルミネーション事業 (NIGHT SYNC YOKOHAMA) 令和2年度～：創造的イルミネーション事業 (ヨルノヨ) 							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	創造的イルミネーション事業	400,000	388,000	12,000	街の回遊を促進し賑わいを創出するため
②					0	
③					0	
細事業合計			400,000	388,000	12,000	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	長谷部 千晶	係長	安藤 亜矢	係	矢島 健二
--------------------	----	--------	----	-------	---	-------

令和5年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	創造都市推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費	<input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	一般会計	4 款	1 項	2 目	枝番号	前年度事業名称	
事業名称	映像文化都市づくり推進事業			政策番号	30	政策指標	1
						施策番号	3
						施策指標	1

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	17,529			15,029		2,500
補助事業 単独事業						0
令和4年度	18,519			15,328		3,191
増△減	△ 990	0	0	△ 299	0	△ 691

歳出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算	事業費	26,500	25,430	23,317	18,519	18,519	18,519
	市債+一般財源	100,538	9,723	7,778	3,191	3,191	3,191
決算	事業費	25,476	275,494	25,128			
	市債+一般財源	9,515	259,787	15,540			

事業概要	本市が誘致した東京藝術大学大学院映像研究科が校舎として使用する映像文化施設（旧富士銀行横浜支店／万国橋会議センター／元町・中華街）の維持管理・修繕及び施設等を活用した地域貢献事業を実施し、映像文化の地域の浸透を図るとともに、創造的な活動を担う人材育成を行います。							
事業開始年度	平成17年度							
根拠法令・方針決裁等	東京藝術大学と横浜市との連携・協力に関する包括協定書（H27.10.1）							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	国内唯一の国立総合芸術大学である東京藝術大学（大学院映像研究科）が本市の映像文化施設を校舎として使用し、映画、メディア映像、アニメーションといった様々な映像分野の研究を重ねることで、映像分野において、世界で活躍する人材が育成されます。また、その専門知識・技術を生かして幅広い世代を対象とした地域貢献事業を行うことで、映像文化の地域への浸透が図られることと、特に若年層（小学生～高校生）に対するコンテンツを実施することで、映像文化への関心を高め、創造的な活動を担う次世代の人材育成に繋がることが期待されます。							
根拠・データ等	○校舎概要 馬車道校舎（※旧富士銀行横浜支店）、万国橋校舎、元町中華街校舎（※旧中区健診・予防接種センター） ○映像研究科概要 映画専攻（定員32名）、メディア映像専攻（定員16名）、アニメーション専攻（定員16名） ○地域貢献事業概要 公開講座、オープンシアター、オープンスタジオ、オープンインベーション、馬車道コンサート、修了制作展（各専攻）、馬車道プロジェクション等							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
地域貢献事業実施事業数	単位	目標	21	19	20	20	20	20
	事業	実績	21	21				
地域貢献事業参加人数	単位	目標	5000	5000	5000	5000	5000	5000
	人	実績	5667	3973				
	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール	平成17年度 東京藝術大学大学院映像研究科の設置（旧富士銀行：馬車道校舎） 平成18年度 新港客船ターミナルに新港校舎を新設 平成20年度 万国橋会議センターに万国橋校舎を新設 平成27年度 新港校舎から元町中華街校舎（旧中区健診・予防接種センター）へ移転							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	映像文化都市づくり推進事業	17,529	18,519	▲ 990
②				0	
③				0	
④				0	
⑤				0	
	細事業合計	17,529	18,519	▲ 990	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	新谷 雄一	係長	入江 淳一郎	係	吉田 沙紀
--------------------	----	-------	----	--------	---	-------

令和5年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	創造都市推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号				
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号				
歳出予算科目	一般会計	4	款	1	項	2	目			
事業名称	創造都市推進事業		政策番号	30	政策指標	1	施策番号	3	施策指標	1

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	62,038	50,000				12,038
補助事業 単独事業						0
令和4年度	35,538	22,500				13,038
増△減	26,500	27,500	0	0	0	△ 1,000

歳出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予	事業費	8,208	6,676	30,221	62,038	62,038	62,038
算	市債+一般財源	8,208	6,676	15,221	12,038	12,038	12,038
決	事業費	8,511	4,088	28,414			
算	市債+一般財源	8,511	4,088	13,413			

事業概要	<p>日本最大規模のジャズフェスティバルである「横浜JAZZ PROMENADE」の開催を支援し、まちの賑わいや来街者の回遊性を創造します。</p> <p>また、国内唯一の舞台芸術プラットフォームである「横浜国際舞台芸術ミーティング (YPAM)」を開催することで、国内外への横浜発の舞台芸術の発信や誘客等につなげます。</p> <p>これらの取組を通じて、文化芸術の持つ創造性をいかしたまちづくりを進めると共に、まちの賑わいづくりと国内外における文化芸術創造都市としてのプレゼンスの向上を目指します。</p> <p>併せて、本市が幹事団体として参加する創造都市ネットワーク日本 (CCNJ) 及び創造都市推進課の円滑な事務運営を図ります。</p>							
事業開始年度	平成18年度							
根拠法令・方針決裁等	創造都市ネットワーク日本 規約、「横浜国際舞台芸術ミーティング (YPAM)」実施に係る基本協定書、横浜 JAZZ PROMENADE事業補助金交付要綱 (平成28年7月26日 文創推第232号)							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>○横浜国際舞台芸術ミーティング (YPAM)</p> <p>国内唯一かつアジアで最も影響力のある舞台芸術プラットフォームである「横浜国際舞台芸術ミーティング (YPAM)」を開催し、国内外の舞台芸術関係者によるプログラムの制作・発表・交流の場を創出させることで、国内外への横浜発の舞台芸術の発信や誘客等につなげます。</p> <p>○横浜JAZZ PROMENADE</p> <p>「街全体をステージに」をコンセプトに、市庁舎アトリウム等の「開かれた場所」で展開することにより、まちの賑わいや来街者の回遊性の創出に寄与し、ジャズの街＝「横浜」をアピールすることによって、国内外に横浜の魅力を発信します。</p> <p>○創造都市ネットワーク日本 (CCNJ)</p> <p>CCNJ全体の運営や部会の運営を担うことにより、国内外の創造都市間の連携・交流が促進されるとともに、他市町村との交流などにより、本市の創造都市の取組が広く周知されることが期待されます。</p> <p>○創造都市推進課運営</p> <p>創造都市推進課の事務運営に必要な諸経費を執行することにより、各事業の円滑な執行が図られ、文化芸術創造都市・横浜の実現につながります。</p>							
根拠・データ等	<p>○YPAM2021実績</p> <p>参加者数：10,048名 (オンライン含む)</p> <p>○横浜JAZZ PROMENADE2021実績</p> <p>参加者数：10,162名 (オンライン含む)</p> <p>○創造都市ネットワーク日本 (CCNJ) 概要</p> <p>参加団体数：120自治体・44団体</p>							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
YPAM 総来場者数	単位	目標	20,000	20,000	30,000	30,000	30,000	30,000
	人	実績	17,345	10,048				
横浜 JAZZPROMENADE 来場者数	単位	目標	4,000	4,000	15,000	15,000	15,000	15,000
	人	実績	3,600	10,162 (配信視聴9,862)				
事業スケジュール	<p>令和3年度 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 (TPAM) から横浜国際舞台芸術ミーティング (YPAM) へ名称変更</p> <p>平成5年度 第1回横浜JAZZ PROMENADE</p> <p>平成23年度 第16回ふるさとイベント大賞 選考委員特別賞受賞</p> <p>平成24年度 NISSAN PRESENTS JAZZ JAPAN AWARD ベスト・ライブ・パフォーマンス部門受賞</p>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	横浜国際舞台芸術ミーティング (YPAM) 推進事業	60,000	32,500	27,500
②	横浜JAZZ PROMENADE	1,000	2,000	▲ 1,000	経費見直しによる補助金の減
③	創造都市推進事業費	1,038	1,038	0	
④				0	
⑤				0	
	細事業合計	62,038	35,538	26,500	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	新谷 雄一	入江 淳一郎	吉田 沙紀

令和5年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	5	
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費	<input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	一般会計	4	款	1	項	2	
事業名称	芸術文化教育プログラム推進事業			政策番号	30	政策指標	1
				枝番号		前年度事業名称	芸術文化教育プログラム推進事業
						施策番号	1
						施策指標	1

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	34,940					34,940
補助事業 単独事業						0
令和4年度	34,940					34,940
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算	事業費	34,940	34,940	33,940	36,750	37,975	39,200
	市債+一般財源	34,940	34,940	33,940	36,750	37,975	39,200
決算	事業費	37,263	33,728	37,320			
	市債+一般財源	37,263	33,728	37,320			

事業概要	アーティストが学校を訪問し、子どもたちに音楽、美術、演劇、ダンス、伝統芸能等を鑑賞、体験する機会を提供します。								
事業開始年度	平成16年度								
根拠法令・方針決裁等	横浜市芸術文化教育プラットフォームの運営に関する協定書 横浜市芸術文化支援実施要綱								
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>①背景・課題の分析 平成16年度から次世代育成事業として開始されています。認定特定非営利活動法人S T スポット横浜、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、横浜市教育委員会、横浜市文化観光局が芸術文化教育プラットフォームとして運営を担い、S T スポット横浜が中心となって事業を推進しています。</p> <p>②事業目的・効果 [事業目的] 次世代を担う子どもたちに、芸術文化に触れ、創造活動を体験する機会を提供することで、文化の多様性に気づききっかけとすること及び表現力やコミュニケーション力等を育成することを目的とし、アーティストによる授業を学校で実施します。効果的なプログラムを実施するため、芸術文化教育プログラムを推進していく総合調整機関となる芸術文化教育プラットフォームを運営します。 [効果] 令和3年度実施校アンケート結果 児童・生徒向けアンケート：「また受けたい」94.6% 教員向けアンケート：「先生のねらいに照らして、今回のプログラムは満足できるものだった」98.6%</p>								
根拠・データ等	<p>[根拠] ・横浜市中期4か年計画2022～2025 「政策30 市民に身近な文化芸術創造都市の推進」 「主な施策1 文化芸術を通じた次世代育成と共生社会実現に向けた取組」 ・横浜市中文化芸術創造都市施策の基本的な考え方 「基本方針2 子どもたちをはじめとする次世代育成を進めます。」</p> <p>[データ] 市立小学校337校、中学校145校、義務教育学校3校、特別支援学校13校(令和4年度)</p>								
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
実施校数 ※子どもオペラ教室・国費等による実施分を含む	単位	目標	129	129	129	132	137	142	147
	校	実績	126	139					
実施回数 ※子どもオペラ教室・国費等による実施分を含む	単位	目標	261	261	261	270	285	300	315
	回	実績	265	327					
事業スケジュール	2月～ 翌年度のプログラムの実施について、学校に周知、申込受付 4～5月 当該年度のプログラムの実施校を決定 7～3月 プログラムの実施								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	芸術文化教育プログラム推進事業	32,440	32,440	0
②	市内文化団体による文化事業と連動したプログラムの提供	1,500	1,500	0	
③	国内トップレベルの舞台の観劇機会の提供	1,000	1,000	0	
④				0	
⑤				0	
	細事業合計	34,940	34,940	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	鬼木 和浩	米山 知	鳥居 ゆい

令和5年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	6
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	6
歳出予算科目	一般会計	4	款	1	項	2	目
事業名称	地域文化サポート事業			政策番号	30	政策指標	1
				枝番号		前年度事業名称	地域文化サポート事業
						施策番号	99
						施策指標	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	31,000					31,000
補助事業 単独事業						0
令和4年度	33,000					33,000
増△減	△ 2,000	0	0	0	0	△ 2,000

歳出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算	事業費	30,000	30,000	30,000	31,000	31,000	31,000
	市債+一般財源	30,000	30,000	30,000	31,000	31,000	31,000
決算	事業費	29,600	28,400	30,000			
	市債+一般財源	29,600	28,400	30,000			

事業概要	地域課題の解決にアプローチするため、文化芸術の持つ創造性をコミュニティやまちの活性化と結びつける文化芸術活動や、横浜の個性ある文化芸術を市内外へ発信する活動を公募し、支援します。							
事業開始年度	平成25年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市地域文化サポート事業プラットフォームの運営に関する協定書							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>①背景・課題の分析 平成25年度から地域文化サポート事業として開始されました。地域課題の解決に取り組む文化芸術活動や横浜の個性ある文化芸術を市内外へ発信する活動を広く公募し、支援しています。</p> <p>②事業目的・効果 [事業目的] 助成金交付対象テーマを含む横浜市内で実施される文化芸術活動を広く公募し、助成金の交付等を通じて地域課題の解決にアプローチするための活動を支援します。また、意見交換を行う研修や、広報誌の発行、団体相互のネットワークづくりのための交流会などを実施し、採択団体等の運営のサポートを行います。認定NPO法人STスポット横浜、文化観光局文化振興課を事務局とするプラットフォームを構成し協働により運営を担い、全市域を対象にした文化振興支援に寄与します。 [効果] 地域の課題に寄り添う市民、文化団体による主体的な活動を、規模の大小を問わず伴走型で支援しています。</p>							
根拠・データ等	<p>[根拠] ・横浜市中期4か年計画2022～2025 「政策30 市民に身近な文化芸術創造都市の推進」「主な施策4 市民の文化芸術活動への支援と環境整備」 ・横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方 「基本方針1 市民の文化芸術活動を支援し、心豊かな市民生活の実現を目指します。」</p>							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
採択事業数	単位	目標	25	25	30	30	30	30
	件	実績	28	29				
	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール	<p>3月～4月 助成事業募集 5月 助成対象事業決定 7月～1月 事業実施 3月 事業報告会開催</p> <p>季刊広報誌発行（3月、6月、9月、12月）、研修会開催（年4回）</p>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	地域文化サポート事業(ヨコハマアートサイト)	31,000	33,000	▲ 2,000
②				0	
③				0	
④				0	
	細事業合計	31,000	33,000	▲ 2,000	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	鬼木 和浩	係長	米山 知	係	新井 康浩
--------------------	----	-------	----	------	---	-------

令和5年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号		
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費	<input checked="" type="checkbox"/> その他	2	目	枝番号	前年度事業名称	クラシック・ヨコハマ推進事業	
歳出予算科目	一般会計	4	款	1	項	政策番号	30	
事業名称	クラシック・ヨコハマ推進事業		政策指標	1	施策番号	1	施策指標	1

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	9,000					9,000
補助事業 単独事業						0
令和4年度	9,000					9,000
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	予算	事業費	市債+一般財源	予算	事業費	市債+一般財源	予算	事業費	市債+一般財源	予算	事業費	市債+一般財源	予算	事業費	市債+一般財源	予算	事業費	市債+一般財源
事業費	10,000	10,000	10,000	9,000	9,000	9,000	8,200	8,200	8,200	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
市債+一般財源	9,809	9,809	9,809	8,845	8,845	8,845	7,995	7,995	7,995	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
決算	9,809	9,809	9,809	8,845	8,845	8,845	7,995	7,995	7,995	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000

事業概要	全日本学生音楽コンクール全国大会における横浜市民賞（聴衆賞）選定の運営、過去の横浜市民賞授与者への市内サロンやミュージアムでのコンサート（アットホームコレクション）の開催							
事業開始年度	平成19年度							
根拠法令・方針決裁等								

①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>①背景・課題の分析 クラシック・ヨコハマは全日本学生音楽コンクールを主催する毎日新聞社をパートナーとし、民間資金（事業）を活用したクラシック音楽振興と次世代育成、まちづくりを結びつけた事業です。1947年から続く国内最高峰の学生音楽コンクールである「全日本学生音楽コンクール」の全国大会（以下全国大会）が2007年（平成19年）から横浜市内で固定開催となったことを契機に開始しました。</p> <p>②事業目的・効果 全国大会の出身者等若手演奏家には演奏機会を提供し、市民には身近な場所で音楽を楽しめる機会を提供するため、身近にあるサロンやミュージアム、福祉施設等、市内各所でクラシックコンサートを実施します。全国大会では、市民の選定員が選ぶ聴衆賞「横浜市民賞」の授与を行います。また、本事業の認知度向上のため、引き続き民間の広報媒体と連携した広報を行います。効果として、全日本学生音楽コンクールやクラシック・ヨコハマ出演者が、国際コンクールなど内外で活躍しています。全国大会やコンサートのために横浜を訪れる観光客も多く、地域の活性化に寄与しています。文化施設以外の場所でのコンサートにより、広く地域に浸透しています。</p>							
--------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

根拠・データ等	<p>[根拠] ・横浜市中期4か年計画2022～2025 「政策30 市民に身近な文化芸術創造都市の推進」 「主な施策1 文化芸術を通じた次世代育成と共生社会実現に向けた取組」 ・横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方 「基本方針2 子どもたちをはじめとする次世代育成を進めます。」</p>							
---------	---	--	--	--	--	--	--	--

事業指標		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
横浜市民賞 受賞者数	単位	目標	12	12	12	12	12	12	12
	人	実績	12	12					
コンサート数	単位	目標	30	30	30	35	35	35	35
	公演	実績	27	29					
来場者数	単位	目標	3,100	3,500	3,500	4,000	4,000	4,000	4,000
	人	実績	3,080	3,429					

事業スケジュール	<p>6月：クラシック・ヨコハマ企画連携プラットフォーム会議開催 6月～10月：アットホーム・コレクション（サロン等身近な場所で開催するコンサートシリーズ）運営準備 8月：クラシック・ヨコハマ推進委員会開催 9月～10月：市民賞選定員募集 11月～1月：クラシック・ヨコハマ開催 11月下旬から12月上旬：全日本学生音楽コンクール全国大会（横浜市民賞決定） 2月：翌年度実施計画検討</p>							
----------	---	--	--	--	--	--	--	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	クラシック・ヨコハマ推進事業	9,000	9,000	0	
	②				0	
	③				0	
細事業合計			9,000	9,000	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	鬼木 和浩	米山 知	鳥居 ゆい

令和5年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価番号
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他		2	目	枝番号
歳出予算科目	一般会計	4	款	1	項
事業名称	ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン推進事業		政策番号	30	政策指標
				1	施策番号
				1	施策指標
				1	施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	5,000					5,000
補助事業						0
単独事業						0
令和4年度	6,000					6,000
増△減	△1,000	0	0	0	0	△1,000

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予 事業費	20,000	20,000	20,000	10,000	10,000	10,000
算 市債+一般財源	20,000	20,000	20,000	10,000	10,000	10,000
決 事業費	20,000	3,700	14,300			
算 市債+一般財源	20,000	3,700	14,300			

事業概要	国際教育音楽セミナー（ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン）の講師・セミナー修了生によるアウトリーチ活動	
事業開始年度	平成21年度（平成27・28年度は文化芸術アクション事業で実施）	
根拠法令・方針決裁等	ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン事業補助金交付要綱	

①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	①背景・課題の分析 国内のオーケストラはほぼ日本人演奏者の楽団となっており、国際色豊かなオーケストラはあまりありません。また、大都市圏において多数の音楽イベントはあるものの、人材育成を主眼に活動する組織は稀です。 クラシック音楽を通じた横浜の文化芸術創造都市の価値を高めるため、10年かけて積み上げた実績は、継続することでより価値のあるものとなるものであり、今後ともさらに発信力を高めながら事業を進め、市民に還元する必要があります。
	②事業目的・効果 これまで、クラシック音楽家の人材育成と国際交流を目的に、民間（※MMC J）が世界各国の優秀な若手奏者を横浜に集め、約3週間の集中セミナーを行いながら国際色豊かなオーケストラを作り上げてきました。国際都市「横浜」のブランドイメージの向上と、市民の文化芸術体験機会の確保も目的とし、市民向けのコンサートなどのアウトリーチ活動を行います。 人材育成の効果として、セミナー修了生が国際音楽コンクールに入賞、内外のプロオーケストラの中で活躍しています。 アウトリーチ活動における市民アンケートでは、高い満足度を得ています。 ※MMC J：ミュージック・マスターズ・コース・ジャパンは、世界的指揮者の大友直人氏とアラン・ギルバート氏により創設されました。

根拠・データ等	<p>[根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> 横浜市中期4か年計画2022～2025 「政策30 市民に身近な文化芸術創造都市の推進」 「主な施策1 文化芸術を通じた次世代育成と共生社会実現に向けた取組」 横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方 「基本方針2 子どもたちをはじめとする次世代育成を進めます。」 <p>【令和元年度実績】（コロナによる事業内容縮小前） セミナー参加者数：21人 アウトリーチ（コンサート・戸塚高校）参加者数（うち戸塚高校人数）：約2500人（約90人） アウトリーチ数（コンサート・戸塚高校）：16回</p>	
---------	---	--

事業指標		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
セミナー参加者数	単位	目標	21	16	25	21	21	21	21
	人	実績	0	16					
アウトリーチ（コンサート・戸塚高校）参加者数（うち戸塚高校人数）	単位	目標	400	400	400	2000	2000	2000	2000
	人	実績	約400人（約100人）	約700人（約100人）					
アウトリーチ数（コンサート・戸塚高校）	単位	目標	5	5	6	12	12	12	12
	回	実績	7 (1)	6 (1)					

事業スケジュール	<p>4月～6月：各種広報 6月下旬～7月中旬：ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン（MMC J）セミナー受講生等によるコンサート実施（各コンサートに市民招待） 9月～1月：オープンスペース等での市民向けコンサートの開催 1月～3月：翌年度実施計画の検討 時期未定：戸塚高校（※）特別指導（※）市内で唯一音楽コースを有する高校</p>
----------	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン推進事業	5,000	6,000	▲1,000
②				0	
	細事業合計	5,000	6,000	▲1,000	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	鬼木 和浩	米山 知	鳥居 ゆい

令和5年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	7
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	7
歳出予算科目	一般会計	4 款	1 項	2 目	枝番号	前年度事業名称	芸術文化支援事業
事業名称	芸術文化支援事業			政策番号	30	政策指標	1
						施策番号	4
						施策指標	1

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	33,900					33,900
補助事業						0
単独事業						0
令和4年度	57,900					57,900
増△減	△ 24,000	0	0	0	0	△ 24,000

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予 事業費	231,600	793,700	236,900	33,900	33,900	33,900
算 市債+一般財源	231,600	793,700	236,900	33,900	33,900	33,900
決 事業費	229,080	645,651	203,330			
算 市債+一般財源	229,080	645,651	203,330			

事業概要	市内に拠点を持つ芸術文化団体による、市民の文化芸術活動の基盤を形成するための事業に対して、補助金の交付、後援・共催名義の付与、活動の場の提供、広報の支援を行います。
------	--

事業開始年度	<ul style="list-style-type: none"> ハマ展事業：昭和47年度 神奈川フィル事業：平成26年度 STスポット運営：昭和62年度 市民広間演奏会事業：平成13年度 地域の文化芸術活性化支援事業：令和4年度
--------	--

根拠法令・方針決裁等	<ul style="list-style-type: none"> ハマ展事業補助金交付要綱 神奈川フィルハーモニー管弦楽団事業補助金交付要綱 STスポット運営補助金交付要綱 横浜市民広間演奏会事業補助金交付要綱
------------	---

①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>①背景・課題の分析 昭和47年度の事業開始以来、美術、音楽、演劇等の芸術文化活動を行う団体による、横浜市の文化振興の基盤を担う活動を支援しています。補助金交付のみでなく、それぞれの団体や活動の状況に合わせて柔軟な支援を行っています。</p> <p>②事業目的・効果 [事業目的] 市内に拠点のある芸術文化団体に対して横浜市が支援することにより、市民が様々な芸術文化を鑑賞、体験、発表できる機会を充実させ、横浜市の芸術分野における文化の振興に寄与することを目的とします。</p> <p>[効果] ・ハマ展事業補助：市内の作家や一般の美術愛好者に広く発表の機会を提供するとともに、市民にとって身近な美術鑑賞の場となっています。 ・神奈川フィルハーモニー管弦楽団事業補助：音楽専門誌での人気が高まるなど、近年演奏技術が向上しており、充実した音楽を提供できています。学校へのアウトリーチでも好評を得ています。 ・STスポット運営補助：若手の劇団やダンスカンパニーにとって、市内で貴重なスタートアップの場になっています。 ・横浜市民広間演奏会事業補助：市庁舎など市民の身近な場所で、質の高い音楽の鑑賞機会を提供しています。</p>
--------------------------------	---

根拠・データ等	<p>[根拠] ・横浜市中期4か年計画2022～2025 「政策30 市民に身近な文化芸術創造都市の推進」「主な施策4 市民の文化芸術活動への支援と環境整備」 ・横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方 「基本方針1 市民の文化芸術活動を支援し、心豊かな市民生活の実現を目指します。」</p>
---------	---

事業指標		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
ハマ展 来場者数	単位	目標	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
	人	実績	16,148	15,404					
神奈川フィル 及び市民広間 演奏会の補助 対象演奏会数 (うち市民広間 演奏会分)	単位	目標	55(40)	55(40)	55(40)	55(40)	55(40)	55(40)	55(40)
	回	実績	42(37)	52(45)					
STスポット 利用団体数	単位	目標	15	15	15	15	15	15	15
	数	実績	19	19					

事業スケジュール	4月～翌3月 事業の円滑な実行
----------	-----------------

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	ハマ展事業補助	1,000	1,000	0
②	神奈川フィルハーモニー管弦楽団事業補助	24,000	18,000	6,000	次世代向け事業追加実施による増
③	STスポット運営事業補助	6,100	6,100	0	
④	横浜市民広間演奏会事業補助	2,800	2,800	0	
⑤	地域の文化芸術活性化支援事業	0	30,000	▲ 30,000	事業終了による減
	細事業合計	33,900	57,900	▲ 24,000	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	鬼木 和浩	米山 知	鳥居 ゆい

令和5年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	9
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	9
歳出予算科目	一般会計	4	款	1	項	2	目
事業名称	文化施設運営事業			政策番号	30	政策指標	1
				枝番号		前年度事業名称	文化施設運営事業
						施策番号	4
						施策指標	1

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	使用料	その他	市債	一般財源
令和5年度	3,492,516	3,008		2,729	9,114	245,000	3,232,665
補助事業 単独事業							0
令和4年度	3,664,752			2,729	9,114	333,000	3,319,909
増△減	△ 172,236	3,008	0	0	0	△ 88,000	△ 87,244

歳出	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	事業費	市債+一般財源	事業費	市債+一般財源	事業費	市債+一般財源	事業費	市債+一般財源	事業費	市債+一般財源	事業費	市債+一般財源	事業費	市債+一般財源	事業費	市債+一般財源	事業費	市債+一般財源
予	3,140,842		3,397,208		3,034,673		3,679,740		3,679,740		3,679,740		3,679,740		3,679,740		3,679,740	
算	3,102,002		3,377,927		3,006,477		3,667,897		3,667,897		3,667,897		3,667,897		3,667,897		3,667,897	
決	3,029,796		3,242,160		2,946,983													
算	3,003,473		3,224,057		2,918,141													

事業概要	文化振興課所管の文化施設の運営・管理を行うとともに各区所管の区民文化センターの天井脱落対策や修繕等及び市民利用施設予約システムの開発・運営を行います。 対象施設：文化振興課所管の15施設と各区所管の区民文化センター12施設								
事業開始年度	平成18年度								
根拠法令・方針決裁等	地方自治法、各施設条例・施行規則等								
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>①背景・課題の分析 平成18年から横浜市文化施設における指定管理者制度が導入され、運営を開始しました。近年、27施設のうち20施設がしゅん工後25年以上経過により、老朽化が進んでいるため、天井脱落対策や長寿命化対策などの改修が喫緊の課題となっています。令和2年度から4年度に横浜みなとみらいホール、令和3年度から横浜美術館、令和4年度に赤レンガ倉庫1号館の大規模改修工事を実施し、令和5年度には横浜能楽堂の大規模改修工事を予定しています。多くの施設が、6か月以上前から利用予約開始となるため、計画的な中長期の改修計画を策定する必要があります。</p> <p>②事業目的・効果 施設の安定的な管理運営を行うことで、文化芸術活動の拠点として、市民の皆様の文化活動を支えています。文化は、人と人の絆を育む源泉となるとともに、多くの人々を引き付ける魅力を都市に与えます。また、文化活動により様々な地域課題にアプローチすることで、多様なコミュニティが形成され、横浜が市民の皆様にとって「住み続けたい街」となることにもつながっています。</p>								
根拠・データ等	<p>【根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> 横浜市中期計画2022～2025 「政策30 市民に身近な文化芸術創造都市の推進」「施策4 市民の文化芸術活動への支援と環境整備」 地方自治法、各施設条例・施行規則等 横浜市民文化芸術創造都市施策の基本的な考え方 <p>「基本方針1 市民の文化芸術活動を支援し、心豊かな市民生活の実現を目指します。」 「基本方針4 賑わいづくり・観光MICE振興にもつながる、横浜らしい先進的な文化芸術を国内外に発信します」</p>								
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
専門文化施設利用者数(横浜美術館・横浜みなとみらいホール他3施設)	単位	目標	1,767	376	601	1,281	1,409	1,549	1,704
	千人	実績	501	372					
事業スケジュール									

(単位：千円)

細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	① 文化施設運営費等	2,821,148	2,597,741	223,407
② 市民利用施設予約システム運営費	27,000	37,000	▲ 10,000	新システム移行による減
③ 次期予約システム開発事業	132,004	32,308	99,696	システム構築による増
④ 文化施設修繕費等	138,000	116,000	22,000	対象案件増のため
⑤ 横浜みなとみらいホール共有部分修繕負担金	59,710	28,000	31,710	対象案件増のため
⑥ 区民文化センター複合施設修繕負担金	65,078	46,310	18,768	対象案件増のため
⑦ 天井脱落対策工事	249,576	807,393	▲ 557,817	対象案件減のため
⑧			0	
細事業合計	3,492,516	3,664,752	▲ 172,236	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	榎崎 和雄	河合 康子	加藤 晃司

令和5年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	10
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 施設等整備費 <input type="checkbox"/> その他		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	10
歳出予算科目	一般会計	4	款	1	項	2
事業名称	横浜美術館大規模改修事業			政策番号	30	政策指標
				1	実施番号	4
					実施指標	1

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	6,746,683				6,040,000	706,683
補助事業						0
単独事業						0
令和4年度	6,295,301				4,547,000	1,748,301
増△減	451,382	0	0	0	1,493,000	△ 1,041,618

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予 事業費	306,754	258,190	840,108			
算 市債+一般財源	306,754	258,190	840,108			
決 事業費	323,240	259,937	650,487			
算 市債+一般財源	323,240	259,937	650,487			

事業概要	横浜の文化観光拠点である横浜美術館の改修工事を行い、施設の長寿命化を図るとともに、横浜の文化観光施策の促進を図る。							
事業開始年度	平成29年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜美術館条例							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>①背景・課題の分析 横浜美術館は、平成30年でしゅん工から30年となり、美術作品を展示、保存するために重要な空調設備をはじめ、電気や衛生設備等の設備機器が経年劣化しています。</p> <p>②事業目的・効果 空調設備をはじめ、電気や衛生設備等の設備機器の更新等を行うことにより、施設の長寿命化を図る。また、バリアフリー対応等を行うとともに、収蔵庫の拡張等を行います。また、工事中は事務所を移転するとともに、収蔵作品を移転し保管します。</p> <p>大規模改修により、これまでに積み重ねてきた専門性や教育普及事業等を継承していくことに加えて、障害者や外国籍の方も含め、あらゆる人に開かれ、新しい価値を創造・発信し続ける魅力的な美術館になることが期待できます。</p>							
根拠・データ等	<p>【根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> 横浜市中期計画2022～2025 「政策30 市民に身近な文化芸術創造都市の推進」 「施策4 市民の文化芸術活動への支援と環境整備」 <p>【令和5年度の事業費の内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> 工事費： ████████千円 工事監理費： ████████千円 (工事の監理業務を委託) 事務費： ████████千円 (建築局への事務費) 作品移転費等： ████████千円 (美術作品・美術図書等の保管、事務所費等) 初度調弁費： ████████千円 (リニューアルオープンに必要な什器類等) 							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
大規模改修事業の実施	単位	目標	実施設計② 作品移転等	工事 作品移転・保管 等	工事 作品保管等	工事 作品保管等	作品保管 ・移転等	-
	-	実績	実施	実施				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度：基本計画 平成30年度：基本設計 令和元年度：実施設計その1、移転調査等 令和2年度：実施設計その2、作品移転保管等 令和3年度：工事、作品移転・保管等 令和4年度：工事、作品保管等 令和5年度：工事、作品保管等 令和6年度：作品移転等 							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	横浜美術館大規模改修事業	6,746,683	6,295,301	451,382
②				0	
③				0	
	細事業合計	6,746,683	6,295,301	451,382	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	吉田 直人	中村 政人	荻野 嘉津子

令和5年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号		
事業区分	■ 施設等整備費 <input type="checkbox"/> その他		2	目	枝番号	前年度事業名称	文化施設運営事業	
歳出予算科目	一般会計	4	款	1	項	政策番号	30	
事業名称	横浜能楽堂大規模改修事業		政策指標	1	施策番号	4	施策指標	1

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	88,140	39			67,000	21,101
補助事業						0
単独事業						0
令和4年度	81,321	3,698			77,000	623
増△減	6,819	△ 3,659	0	0	△ 10,000	20,478

歳出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予	事業費			37,398	621,834	2,869,396	
算	市債+一般財源			36,058	620,467	2,865,779	
決	事業費			15,457			
算	市債+一般財源			14,117			

事業概要	平成27年3月策定の「横浜市公共建築物天井脱落対策事業計画」に基づき、天井脱落対策を行うため、工事発注し、工事に着手します。開館以来初めての長期休館となるため、施設を安全に運営するための長寿命化対策等も併せて実施します。また、横浜市指定有形文化財である「旧染井能舞台」への影響を最小限に抑える方法で工事を行います。								
事業開始年度	令和3年度								
根拠法令・方針決裁等	地方自治法、各施設条例・施行規則等								
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>①背景・課題の分析 横浜能楽堂は平成8年開館から25年が経過しており、空調設備や、電気、衛生設備等の機器が経年劣化していますが、設備更新ができておりません。当施設は、横浜市指定有形文化財である本舞台「旧染井能舞台」が設置されている本市にとって非常に重要な施設であり、代替施設がないため、長期休館が非常に困難な施設です。そのため、天井脱落対策工事と併せて、長寿命化対策やバリアフリー対応を効果的かつ効率的に実施し、安全な施設運営に寄与します。なお、天井脱落対策工事、長寿命化対策工事ともに、令和3年度に実施した基本設計及び、令和4年度に実施した実施設計を基に進めてまいります。</p> <p>②事業目的・効果 天井脱落対策工事による長期休館に併せて、長寿命化対策を実施することで、安全な施設運営に寄与する他、市民の皆様への施設利用への影響を最小限とします。また、利用者練習用のスペースの確保や、工事中の事務所移転、重要物品等移転保管を行い、休館中も引き続き市民の皆様が利用できる環境確保に努めます。</p>								
根拠・データ等	<p>【根拠】 ・横浜市中期計画2022～2025 「政策30 市民に身近な文化芸術創造都市の推進」 「施策4 市民の文化芸術活動への支援と環境整備」</p>								
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
業務進捗	単位	目標	基礎調査	基本設計	実施設計	工事発注・工事	工事	工事	再開館
	千人	実績	実施	実施					
事業スケジュール	令和3年度：基本設計 令和4年度：実施設計 令和5年度：工事発注・工事 令和6～8年度：工事、再開館								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	横浜能楽堂大規模改修工事	88,140	81,321	6,819
②					
③					
④					
⑤					
	細事業合計	88,140	81,321	6,819	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	檜崎 和雄	河合 康子	加藤 晃司

令和5年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	12
事業区分	■ 施設等整備費 □ その他		2	目	枝番号	前年度事業名称	文化施設整備事業
歳出予算科目	一般会計	4	款	1	項	政策番号	30
政策指標	1	施策番号	4	施策指標	1	施策番号	4
事業名称	文化施設整備事業		1	施策番号	4	施策指標	1

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	578,997				429,000	149,997
補助事業 単独事業						0
令和4年度	1,502,923	172,000			1,322,000	8,923
増△減	△ 923,926	△ 172,000	0	0	△ 893,000	141,074

歳出	令和元年度			令和2年度			令和3年度		
	予算	事業費	市債+一般財源	予算	事業費	市債+一般財源	予算	事業費	市債+一般財源
事業費	203,081	2,778,972	2,210,471	204,402	2,553,942	2,208,602	5,000,000	850,000	1,500,000
市債+一般財源	△ 5,571,400	1,668,172	1,343,398	△ 5,558,779	1,656,342	1,341,602	5,000,000	850,000	1,500,000

事業概要	市民の主体的、創造的な文化芸術活動の身近な拠点となる区民文化センターを各区の特性に応じて整備を進めます。							
事業開始年度	昭和61年度							
根拠法令・方針決裁等								

①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	①背景・課題の分析 昭和50年代以降の市民の文化的欲求の高まりに答えるとともに、各区の個性ある文化形成に寄与するために、区民文化センター構想が生まれました。 第1号の区民文化センター開館後30年以上が経過し、地域の文化拠点に期待される役割が変わってきました。特に東日本大震災以降、文化が地域の絆を結びなおす機能の発揮や、地域における文化的なつながりの形成が重要であると考えられるようになったため、区民文化センターに求める役割や機能の変化を今後の整備に反映させる必要があります。
	②事業目的・効果 [事業目的] 地域に根差した個性ある文化の創造に寄与するため、文化活動の場や機会の提供を行うとともに、区全域での文化活動に関する支援機能や、ネットワーク形成を牽引する機能を担う地域の文化拠点として区民文化センターを整備します。 整備に当たっては、未整備区を対象として検討を進め、再開発等のまちづくりの機会などを捉え、区内の文化施設や公会堂等の公共施設の機能を踏まえながら、区の特性に合わせて必要な機能を整備します。 [効果] 市民の文化活動のための場の提供や身近な場所で文化芸術に触れる機会の提供を通じ、地域の文化活動の振興や発展に寄与するとともに、文化芸術の創造性をいかしてコミュニティを活性化し、教育、福祉、子育て、環境など様々な地域課題の解決に取り組む活動の支援につなげます。

根拠・データ等	[根拠] ・横浜市市民文化センター条例、横浜市市民文化センター条例施行規則 ・横浜市中期計画2022～2025 「政策30 市民に身近な文化芸術創造都市の推進」 「施策4 市民の文化芸術活動への支援と環境整備」 ・横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方(平成24年12月) 基本方針1 市民の文化芸術活動を支援し、心豊かな市民生活実現を目指します。 基本方針2 子どもたちをはじめとする次世代育成を進めます。							
---------	--	--	--	--	--	--	--	--

事業指標		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
都筑区民文化センター	単位	目標	事業調整・協議 基本設計	基本・実施設計	工事・不動産鑑定・取得契約	工事・指定管理者指定	竣工・開館		
	進捗	実績	事業調整・協議 基本設計	基本・実施設計					
港北区民文化センター	単位	目標	保留床売買契約 取得費の一部支払い	取得費の一部支払い	取得費の一部支払い	支払い完了・開館			
	進捗	実績	保留床売買契約 取得費の一部支払い	取得費の一部支払い					
金沢区民文化センター	単位	目標	基礎調査	基礎調査	基本構想策定	基本設計	実施設計	工事	工事・竣工
	進捗	実績	基礎調査	基礎調査					

事業スケジュール								
----------	--	--	--	--	--	--	--	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	都筑区民文化センター整備事業	3,800	5,000	▲ 1,200
②	港北区民文化センター整備事業	536,197	1,494,923	▲ 958,726	事業費の減による減
③	金沢区民文化センター整備事業	39,000	3,000	36,000	事業進捗による増
④				0	
⑤				0	
	細事業合計	578,997	1,502,923	▲ 923,926	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	吉田 直人	針生 大輔	栗本 典子

令和5年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他		2	目	枝番号		
歳出予算科目	一般会計	4	款	1	項	前年度事業名称	横浜文化賞事業
事業名称	横浜文化賞事業			政策番号	30	政策指標	1
				施策番号	99	施策指標	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	4,820	0	0	0	0	4,820
補助事業 単独事業						0
令和4年度	4,179					4,179
増△減	641	0	0	0	0	641

歳出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予	事業費	5,135	4,613	4,613	4,820	4,820	4,820
算	市債+一般財源	5,135	4,613	4,613	4,820	4,820	4,820
決	事業費	5,932	5,075	5,363			
算	市債+一般財源	5,932	5,075	5,363			

事業概要	横浜市の芸術、学術、教育、社会福祉、医療、産業、スポーツ振興等の文化の発展に尽力し、その功績が顕著な方々を顕彰します。							
事業開始年度	昭和27年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市附属機関設置条例 横浜文化賞実施要綱 横浜文化賞選考委員会運営要綱							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>①背景・課題の分析 昭和27年の事業開始以来、長きにわたり、横浜市の文化の発展に尽力された方々を顕彰し、その功に報いるとともに、横浜市の文化の向上・発展に寄与しています。</p> <p>②事業目的・効果 【事業目的】 横浜市の芸術、学術、教育、社会福祉、医療、産業、スポーツ振興等の文化の発展に尽力し、その功績が顕著な方々を顕彰することにより、横浜市の文化の向上及び発展に寄与することを目的としています。</p> <p>【効果】 市民と一緒に受賞者をお祝いする贈呈式を開催することで、本市の文化の向上及び発展に対する永年の功に報いることができるほか、全国又は国際的に活躍している方を顕彰することで、シビックプライドの醸成にも寄与しています。一方、文化芸術分野で現在活躍中の若年層又は中堅層で、さらに今後の活躍が特に期待される方に文化芸術・奨励賞を贈呈することで、横浜市の次代の文化芸術を担うアーティストの支援やその後の国内外での活躍に繋がっています。</p>							
根拠・データ等	<p>[根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> 横浜市中期4か年計画2022～2025 「政策30 市民に身近な文化芸術創造都市の推進」 横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方 「基本方針1 市民の文化芸術活動を支援し、心豊かな市民生活の実現を目指します。」 「基本方針2 子どもたちをはじめとする次世代育成を進めます。」 							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
受賞者数	単位	目標	7	7	7	7	7	7
	人・団体	実績	7	7				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<p>3月 候補者の推薦依頼 7月 横浜文化賞選考委員会の開催 11月 贈呈式・記念コンサートの開催</p>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	横浜文化賞事業	4,820	4,179	641
②				0	
③				0	
④				0	
⑤				0	
	細事業合計	4,820	4,179	641	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	鬼木 和浩	係長	碓 富士子	係	新井 康浩
--------------------	----	-------	----	-------	---	-------

令和5年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他		2	目	枝番号		
歳出予算科目	一般会計	4	款	1	項	前年度事業名称	美術資料収集事業(文化基金)
事業名称	美術資料収集事業(文化基金)		政策番号	30	政策指標	1	実施番号 4 実施指標 1

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	寄付金	財産収入	市債	一般財源
令和5年度	12,030			12,000	30		0
補助事業 単独事業							0
令和4年度	5,030			5,000	30		0
増△減	7,000	0	0	7,000	0	0	0

歳出	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	予算	事業費	市債+一般財源	予算	事業費	市債+一般財源	予算	事業費	市債+一般財源	予算	事業費	市債+一般財源	予算	事業費	市債+一般財源	予算	事業費	市債+一般財源
事業費	9,280			5,030			5,030			5,030			5,030			5,030		
市債+一般財源	4,250			0			0			0			0			0		
決算	4,878			1,280			1,667											
市債+一般財源	4,278			0			18											

事業概要	横浜市文化基金は、横浜美術館に收藏する美術資料の収集及び文化施設の建設に資することを目的に、昭和56年に設置しました。1年に1回程度、美術資料収集審査委員会を開催し、横浜市美術資料収集方針に合う資料を購入します。							
事業開始年度	昭和56年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市文化基金条例 横浜市文化基金条例施行規則 横浜市美術資料収集審査委員会運営要綱 横浜市美術資料収集方針							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>①背景・課題の分析 横浜市文化基金は、横浜美術館に收藏する美術資料の収集及び文化施設の建設に資することを目的に昭和56年に設置しました。現在、基金の積み立てが減少傾向にあり、新たな作品購入ができていません。これにより、横浜美術館のコレクションの充足ができていない状況にあります。</p> <p>②事業目的・効果(必要性) 前述のとおり、横浜市文化基金は、横浜美術館に收藏する美術資料の収集及び文化施設の建設に資することを目的としています。美術館のコレクションの充実を図ることで、調査研究及び展示に役立てます。これにより、施設の集客力に加え、みなどみらい地区の回遊性を高め、地域経済の活性化に寄与します。</p>							
根拠・データ等	<p>[根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> 横浜市中期計画2022～2025 「政策30 市民に身近な文化芸術創造都市の推進」「施策4 市民の文化芸術活動への支援と環境整備」 横浜市文化基金条例(昭和56年3月31日横浜市条例第15号) 同 施行規則(昭和57年3月5日規則第11号) 横浜市美術資料収集審査委員会運営要綱(平成24年3月28日制定) 横浜市美術資料収集方針 <p><横浜市文化基金条例> 第1条 横浜市民の文化活動の場としての総合的機能を備えた美術館その他の文化施設の建設及び美術館に收藏する美術品等の収集に資するため、横浜市文化基金(以下「基金」という。)を設置する。</p>							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
購入作品数	単位	目標	2	2	2	2	2	2
	点	実績	0.0	0.0				
	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール								

(単位:千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	美術資料収集事業	12,030	5,030	7,000
②				0	
③				0	
④				0	
⑤				0	
	細事業合計	12,030	5,030	7,000	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	榑崎 和雄	齋藤 あさぎ	法月 裕

令和5年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費	<input checked="" type="checkbox"/> その他	2	目	枝番号		
歳出予算科目	一般会計	4	款	1	項	前年度事業名称	地域創造助成事業費
事業名称	地域創造助成事業費			政策番号	30	政策指標	1
				施策番号	4	施策指標	1

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	1,000			1,000		0
補助事業						0
単独事業						0
令和4年度	1,000			1,000		0
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予 事業費	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
算 市債+一般財源	0	0	0	0	0	0
決 事業費	0	0	0	0	0	0
算 市債+一般財源	0	0	0	0	0	0

事業概要	地域の文化・芸術活動を助成する事業							
事業開始年度	平成7年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市補助金等の交付に関する規則 横浜市地域の文化・芸術活動支援事業補助金交付要綱							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>①背景・課題の分析 「文化・芸術の振興による創造性豊かな地域づくり」を目的として、全国の地方団体等の出捐を基に平成6年に自自治省(現総務省)によって(一財)地域創造が設立されました(平成26年に一般財団法人に移行)。</p> <p>②事業目的・効果 地域創造助成事業は(一財)地域創造が実施する「地域の文化・芸術活動助成事業」に企業等の一般指定管理者の申請した事業が採択された際、地方公共団体を通じ助成する事業です。 本事業は、市内文化施設にとって、外部資金獲得の貴重な機会となっています。</p>							
根拠・データ等	<p>[根拠] ・横浜市中期4か年計画2022~2025 「政策30 市民に身近な文化芸術創造都市の推進」 「主な施策4 市民の文化芸術活動への支援と環境整備」 ・横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方 「基本方針1 市民の文化芸術活動を支援し、心豊かな市民生活の実現を目指します。」</p> <p>[データ] <助成額実績>平成29年度0円、平成30年度0円、令和元年度0円</p>							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
助成額	単位	目標	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	千円	実績	0	0				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	令和5年4月以降 助成対象事業決定 同上 助成対象事業実施 同上 事業実績報告提出後、助成額確定							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	地域創造助成事業費	1,000	1,000	0
②				0	
③				0	
④				0	
⑤				0	
	細事業合計	1,000	1,000	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	鬼木 和浩	碓 富士子	鳥居 ゆい

令和5年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
歳出予算科目	一般会計	4	款	1	項	2
事業名称	指定管理者制度運営費			政策番号	30	政策指標
				1	施策番号	4
					施策指標	1

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	2,734					2,734
補助事業						0
単独事業						0
令和4年度	2,473					2,473
増△減	261	0	0	0	0	261

歳出	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	予 事業費	2,977	4,751	4,751	4,017	1,752	5,952	4,017	1,752	5,952	4,017	1,752	5,952	4,017	1,752	5,952	4,017	1,752
算 市債+一般財源	2,977	4,751	4,751	4,017	1,752	5,952	4,017	1,752	5,952	4,017	1,752	5,952	4,017	1,752	5,952	4,017	1,752	5,952
決 事業費	1,894	1,649	2,990	1,894	1,649	2,990	1,894	1,649	2,990	1,894	1,649	2,990	1,894	1,649	2,990	1,894	1,649	2,990
算 市債+一般財源	1,894	1,649	2,990	1,894	1,649	2,990	1,894	1,649	2,990	1,894	1,649	2,990	1,894	1,649	2,990	1,894	1,649	2,990

事業概要	文化施設各館において、指定管理者の公募・選定単位で指定管理者選定評価委員会を設置し、外部委員による次期指定管理者の公募・選定及び評価を行うとともに、指定管理者の運営状況を把握することにより、本市における文化芸術活動の振興に寄与します。							
事業開始年度	平成18年度							
根拠法令・方針決裁等	地方自治法、文化施設各館の設置条例・規則							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>①背景・課題の分析 地方自治法第244条の2第10項において、「指定管理者の管理する公の施設の管理の適正を期するため、指定管理者に対して、当該管理の業務又は経理の状況に関し報告を求め、実地について調査し、又は必要な指示をすることができる。」と規定されています。 指定管理者制度は、選定時に要求する業務の基準を示し、業務の結果、基準が達成されているかどうかを事後に確認することが制度の要となります。</p> <p>②事業目的・効果 本市指定管理者制度運用ガイドラインに基づき、文化施設各館の指定管理者に対し、施設運営業務の状態を把握するためのモニタリングを実施するとともに、指定管理者が提出する「業務計画書」、「業務報告書」、「自己評価報告書」を元に外部委員による評価を行います。また、次期指定管理者の公募・選定を行います。 文化施設各館の指定管理者選定評価委員会を通じて、指定管理者の運営状況の評価及び次期指定管理者の選定を適切に行うことにより、各館の設置目的をより効果的かつ効率的に達成し、本市における文化芸術活動の振興に寄与するとともに、住民サービスをより一層、向上させます。</p>							
根拠・データ等	<p>[根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> 横浜市中期計画2022～2025 「政策30 市民に身近な文化芸術創造都市の推進」 「施策4 市民の文化芸術活動への支援と環境整備」 横浜市指定管理者制度運用ガイドライン 							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
委員会 会議数 (視察含む)	単位	目標	60	60	30	39		
	回	実績	22.0	26.0				
	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	指定管理者制度運営費	2,734	2,473	261
②				0	
③				0	
④				0	
	細事業合計	2,734	2,473	261	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	檜崎 和雄	齋藤 あさぎ	島 和稔

令和5年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	一般会計	4	款	1	項	2
事業名称	文化振興企画調査費		政策番号	30	政策指標	1
			実施番号	4	実施指標	1

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	2,379					2,379
補助事業						0
単独事業						0
令和4年度	2,379					2,379
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	予 事業費	4,963			3,500			2,800			2,379			2,379			2,379	
算 市債+一般財源	4,963			3,500			2,800			2,379			2,379			2,379		
決 事業費	2,829			1,445			1,912											
算 市債+一般財源	2,829			1,445			1,912											

事業概要	横浜美術館収蔵作品の収集のための美術資料収集審査委員会及び価額評価委員会の運営をするほか、文化行政推進のための一般的事務費を執行します。							
事業開始年度	昭和63年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市附属機関条例 横浜市美術資料収集審査委員会運営要綱							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>①背景・課題の分析 「横浜市美術資料収集審査委員会運営要綱」に基づき、内部検討委員会より提示された収集候補作品について、学識経験を有する者及び専門家からなる「美術資料収集審査委員会」において、「横浜市美術資料収集方針」への適合性、芸術性及び真贋性の審査を行います。また、同要綱に基づき、横浜市美術資料価額評価委員会において、横浜市が美術作品を購入する際、その評価額を決定します。また、文化行政推進のための一般的事務費を執行します。</p> <p>②事業目的・効果 横浜美術館収蔵作品の収集のための美術資料収集審査委員会及び価額評価委員会を円滑に運営することで、信頼性の高いコレクションの収集活動を行うこととします。また、文化行政の円滑な推進を図ります。委員会の円滑な運営により、横浜市の美術資料を充実させ、横浜美術館の魅力を高めています。</p>							
根拠・データ等	<p>[根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> 横浜市中期計画2022～2025 「政策30 市民に身近な文化芸術創造都市の推進」「施策4 市民の文化芸術活動への支援と環境整備」 横浜市附属機関条例、横浜市美術資料収集審査委員会運営要綱 							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
委員会開催数	単位	目標	2	2	2	2	2	2
	回	実績	1.0	1.0				
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	10月 横浜市美術資料収集内部検討委員会 12月 横浜市美術資料収集審査委員会 1月 収集手続き							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	美術資料収集委員会	770	770	0
②	一般事務費	1,609	1,609	0	
③				0	
④				0	
⑤				0	
	細事業合計	2,379	2,379	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	鬼木 和浩	碓 富士子	廣田 玲央